

平成24年度議会評価対象事業の予算措置等の状況

市評価段階 A: 拡大、B: 現状維持、C: 縮小、D: 休止、E: 段階的に廃止、F: 即廃止(完了)

(千円)

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価理由	実施状況コメント	H25年度予算	H24年度予算	増 減
1	スポーツ振興事業	体育振興課	泉州国際市民マラソン大会の開催、各種市民競技大会の開催、大阪府総合体育大会への市代表選手派遣、スポーツ少年団・スポーツ推進委員協議会・体育協会・スポーツリーダー協議会・健康マラソン実行委員会・レクリエーション協会等の各種団体事務局業務。また、平成19年度から、総合体育館管理運営事業・健康増進センター運営事業・健康増進センター施設管理事業の一部をスポーツ振興事業に移行。	B	現状維持	泉州国際マラソンについては毎年、係員用の新着ジャンパーと帽子を支給するなどの削減できる部分がある。他市との調整もあるので現状維持は致し方ない。マラソン以外のスポーツにおいても育成を図るべきである。	事務的経費の節減に努め、賞賜金160千円から175千円に増。 [全国大会優勝個人 10千円から15千円へ 国際大会出場個人 20千円から30千円へ]	11,339	11,401	△ 62
2	青少年健全育成事業	青少年課	青少年健全育成事業として青少年問題講演会・青少年指導者講習会等、青少年健全育成に関する講習会を開催している。	B	縮小	施設の統廃合により、コスト面での見直しが必要である。講習会の実施回数が昨年と横ばいであることを加味して縮小の方向にするべき。	市青年団協議会60周年事業補助金1,000千円の臨時的経費の増。 青少年指導者講習会委託料36千円の減。	2,857	1,881	976
3	稲倉青少年野外活動センター施設管理事業	青少年課	キャンプカウンセラーを配置し青少年健全育成の一環として「生きる力」「豊かな心」を育む場として野外活動、集団活動の場を提供している。開設期間は4月～10月末(※7月20日～8月31日の間以外は土日祝日のみ開設、なお、上記期間の平日は利用者があるときのみ開館) (稲倉青少年野外活動センター管理棟:RC2階、430.66㎡、昭和56年竣工、建築価格47,030千円 倉庫、フレッシュエア型テント、キャビン、ロッジ、ログハウス、便所シャワー室、便所)	B	拡大	自然を体験できる施設としては利用価値があり、泉州地域でも類似施設が少ない。教育施設としてもまだまだ活用できる余地がある。	事務的経費の節減。 センター整備委託料89千円の減。	4,082	4,215	△ 133

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価理由	実施状況コメント	H25年度予算	H24年度予算	増 減
4	歴史館運営事業	図書歴史課	歴史館いずみさの(平成8年開館。郷土の歴史、民俗及び荘園資料の展示、収集、公開を目的とし、市民学習活動の援助、市が保有する文化遺産のシンクタンクとなる)を維持運営していくために必要な事業を行う。	B	現状維持	郷土の歴史や文化の伝承面での必要性は感じるが、料金等、市民がより身近に感じる施設にするべきではある。しかし、市の財政状況を踏まえると、現状維持が精一杯である。	観覧料の無料化に伴い展示経費等の見直し。 また、展示・普及啓発事業においても見直し(△736千円)。	1,210	1,284	△ 74
5	街かどデイハウス支援事業	高齢介護課	在宅の虚弱又は軽度の介護を要する高齢者に市内5ヶ所(市民との絆、だんらん、いきいきらぶ、たんぽぽ、フクシライフ)の街かどデイハウス(月～金、午前9時～午後5時開設、施設ごとに利用料設定)において生活支援サービスとして、自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的、精神的な負担の軽減を図る。	B	縮小	小地域ネットワークなど各地域が同様の事業を行っている。府の補助金制度が廃止になり、交付金となったため、市としても縮小の方向に移行すべきである。	1団体あたり2,400千円から1,200千円に補助額を2分の1に縮小。	6,000	12,000	△ 6,000
6	高齢者自立支援(介護保険課)事業	高齢介護課	介護方法の指導や要介護者の家族を支援するための事業、または介護保険事業の運営の安定化及び被保険者が地域で自立した日常生活を送ることを支援するため、給付管理事業や寝たきり老人介護用品給付事業、「食」の自立支援事業、敬老月間に行う高齢者ふれあい交流会(敬老大会)と、平成23年度までは老人福祉施設3カ所において地域の子どもたちも参加し高齢者相互の交流と世代間交流を行っている。	B	現状維持	要介護者及びその家族に対する手厚い支援は必要であるとは感じているが、市の財政状況を鑑み、現状維持が精一杯である。しかし、配食利用が減少している一方、おむつなどの利用が増加しているため、定期的な事業内容の見直しも必要である。	紙おむつ対象者拡大により2,772千円の増。 在宅給食援助給食数の見直しで1,483千円の減。	22,089	21,096	993
7	特定保健指導事業	国保年金課	特定健康診査の結果により、健康の保持に努める必要がある人に対して保健指導を実施。	A	現状維持	保健指導利用率が15%と極端に少なく、また、受診者数も97名と少ないため、生活習慣病予防や医療費の抑制のため事業としては必要であるため現状維持が妥当。	保健指導の充実のため、報償費を2,674千円から2,817千円に増。	4,768	4,751	17

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価理由	実施状況コメント	H25年度予算	H24年度予算	増 減
8	相談事業	人権推進課	下記の相談事業を実施する。 (1)人権侵害ケースワーク事業 (2)総合生活相談事業 (3)進路選択支援事業 (4)地域就労支援事業	B	縮小	相談事業窓口が分散化しているため、運営面及び費用面等において非効率的である。	相談員1名をまちの活性課の労働相談へ。	18,571	22,673	△ 4,102
9	泉佐野まなびんぐサポート事業	学校教育課	放課後学習を実施する学校に対して学習支援ボランティア等的人的支援を行う。	A	拡大	学力向上を推進するべき。	武道講師1名の新規採用による増。学力向上のためのまなびんぐサポート事業については、引き続き全校にて実施。	13,842	9,180	4,662
10	生活保護事業	生活福祉課	生活保護法に定める各扶助費及び施設事務費	B	現状維持	不正受給者のゼロ化など精査する課題は多いが、救済を必要としている人々にとっては必要な制度であり、また、国による法定受託事務でもあるので、現状維持が妥当。	生活保護適正化のため支援員1名の増(生活保護事務事業で予算措置)。	3,162,000	3,162,000	0
11	道路維持事業	道路公園課	市道にかかる以下の維持管理業務を行っている。 ①街路樹維持管理(植樹帯の剪定、灌水、害虫駆除) ②除草 ③道路照明、地下道排水ポンプ等の修繕 ④地下道排水ポンプの点検	B	現状維持	災害対策面においても、必要な事業であり、拡大の方向で進みたいだが、市の財政状況を鑑みた時、現状維持はやむなし。	街路樹維持業務を緑化協会の自主事業として実施のため減。	33,083	70,904	△ 37,821
12	自転車等駐輪場運営事業	環境衛生課	市内7駅10箇所に市営自転車置場を設置し、泉佐野市身体障害者福祉会に委託して自転車置場の運営を行い、自転車等利用者の利便及び交通の安全と円滑化を図る。	B	現状維持	放置自転車が減少傾向にあることには一定の評価をする。	街頭整理員・自転車置場管理委託料の見直し。	71,223	73,716	△ 2,493

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価理由	実施状況コメント	H25年度予算	H24年度予算	増 減
13	林業振興対策事業	農林水産課	林業振興対策事業として以下の業務を行っている。 ①森林整備事業の調査等に関する業務 ②国定公園保全対策協議会(公園区域内の森林保全及び清掃活動を中心とした山地美化キャンペーンを行っている)関係事務 ③林業関係者同士の交流・情報交換 ④一般市民への森林・林業の普及活動	B	現状維持	防災や保水など、森林の持つ多面的機能を有効に生かすためには最低限の保全是必要である。	府治山治水協会負担金45千円の減。	507	565	△ 58
14	漁業振興事業	農林水産課	漁業振興のため以下の事業を実施している。 ①種苗放流事業(抱卵ガザミ放流事業) ②地域住民と一体となった漁業体験事業(地曳網体験事業)	B	現状維持	底引き網漁業をしているため、昨今、漁獲量が減少している。水揚げ量の安定確保を図るためにも、ガザミなどの放流を継続する必要がある。その意味においても資金面でのサポートを行政が継続して行う必要がある。	事務経費の見直し。種苗育成助成事業については、継続して実施。	1,431	1,434	△ 3
15	中小企業金融対策事業	商工労働観光課	大阪府制度融資にかかる相談やあっせん及び融資の申込みに必要な認定書発行事務、大阪府制度融資及び日本政策金融公庫(旧国民生活金融公庫)を利用している中小企業者を対象に、一部の融資について利子補給(限度額400万円・1%)を行なっている。	B	現状維持	補助金額が少額であるので支援効果は低い。ただし、現在の経済状況を見た場合には零細企業にとっては必要な支援事業であると想定されるため、現状維持もやむなし。	事業を再編し、中小企業総合支援事業を創設。 中小企業振興資金利子補給 平成24年度8,023千円 平成25年度6,214千円 中小企業振興資金保証料補助金 平成24年度0千円 平成25年度1,400千円	0 (9,301)	8601 (8,601)	△8601 (700)
16	観光振興事業	商工労働観光課	市内における様々なイベントの実施や他団体主催イベントとの連携及び誘致、南海泉佐野駅に設置された「観光情報センター」を拠点とし、観光パンフレット・ホームページ等による観光PRを行っている。	A	拡大	りんくうタウン周辺を活かすことで観光需要を増加させる方を推進する必要がある。	まち処にかかる運営費の増。	14,763	10,574	4,189
合 計								3,367,765	3,416,275	△ 48,510